

2008年度 早稲田大学 政治経済学部

日本史 解答例

I 天台宗・真言宗・東山文化 <やや難>

A 1オ 2ア 3オ 4ウ 5イ 6エ 7イ・エ・カ

B 1入唐求法巡礼行記 2教王護国寺 3樵談治要

難問はA 4・A 6・A 7。早稲田ではよく出題されるテーマではあったが、受験生の盲点を突く問題が目立つ。

II 江戸時代の雑題 <やや易>

A [i]c [ii]e [iii]c [iv]e [v]a [vi]b [vii]d [viii]d

B [ix]川口 [x]千鱒 [xi]権現造

早稲田定番の問題もちらほら見えるが、B [ix]は虚を衝く問題であった。これを消去法で解くと言ったら驚くだろうか。入試で出題される用語は何なのかを文字通り把握していると、こうした記述問題ですら消去法で解けるようになる。

III 明治時代の雑題 <標準>

A 1エ 2イ 3ア 4オ 5イ 6ウ 7ア 8エ

B A北海道旧土人保護法 B大久保利通 C大阪事件

他の私大ならA 4は難問と言いたいところだが、本気で20年分くらい全学部の過去問を研究すると、早大入試には必要な用語だと見えてくる。このため沖縄史の授業では、早稲田受験者に限定して習得するように伝えてあった。

IV 太平洋戦争開戦前の史料 <標準>

A 1ニ 2イ 3ロ 4ハ 5ロ 6イ 7ホ 8ニ

B a企画院 b東条英機 c蒋介石

インド・東インド・仏印・蘭印・シナ・インドシナ・インドネシア……これらの差異がわからない人はいるだろうか。A 6は、たとえ「印度支那」が何のことかがわかったとしても解けるとは限らない問題であったが、上記の国名・地名が具体的にどこを指しているかは把握していなければならない。

V 占領政策 <易>

A 1ロ 2ニ 3ロ 4ハ 5ホ

B【解答例】

五大改革指令は、婦人の解放・圧政的諸制度の廃止・労働組合の助長・教育の民主化・経済機構の民主化で、このうち最初の2つの改革は、幣原内閣が婦人参政権を認める衆議院議員選挙法改正と、治安維持法および特高警察の廃止を行うなどして実現された。(117字)

【別解例】

五大改革指令は、婦人の解放・労働組合の助長・圧政的諸制度の廃止・教育の民主化・経済機構の民主化で、このうち最初の2つは、婦人参政権を認める選挙法改正と、労働者の団結権・団体交渉権・争議権を認める労働組合法の制定などによって実現された。(117字)

政治経済学部特有の論述問題だが、一時期のやっかいな問題はなくなったのかもしれないと思わせる易しさであった。マス目を無駄に使わないようにして、キーワードをできるだけ盛り込むことを心がけよう。

講評

史料問題の多さに肝をつぶす受験生がいるかもしれないが、それは単に対策不足なだけのことで、取り立てて解答するのに困る問題は存在しない。また、Ⅲのコメントでは過去問研究の重要性を説いているが、実際には予備校の授業で出題傾向を仕入れた方が、独力でやるよりも何十倍も効率が良い。早稲田入試に精通した人から見れば、本当に「難問」と言えるのは全問題中、たったの4問ほどなのである。